

囲碁サミット宣言文

全国で囲碁文化の振興に取り組む8つの自治体の首長がここ平塚市に集い、「日本の囲碁を地域から」をテーマに、第1回の囲碁サミットが開催されました。

古代中国が発祥の地という囲碁は四千年の歴史をもつと言われていています。その囲碁が六世紀頃、朝鮮半島を経由して伝来し日本の囲碁文化が始まりました。

当初、貴族など上流階級の中で盛んに行われた囲碁は時代を追うごとに武士層を始め広く一般に拡大し、江戸時代には徳川幕府の庇護により囲碁隆盛の基盤が築かれました。

そして、次々と新しい布石や高度な技法が考案され、技芸として充実するとともに、日本を代表する伝統文化として発展してきました。

地域の発展の基礎は人づくりにあります。囲碁は、豊かな発想力、深い思考力、忍耐力を養うにふさわしいゲームとして、教育的効果が高く、人づくりに欠かせない要素をもっており、さらに、最近の医学では、囲碁により脳が著しく活性化されることが確認されており、福祉の面からも注目されるようになっています。

本日のサミットでは、これらを踏まえ、それぞれの理念に基づき、今後さらに、地域から囲碁文化の振興と発展を図り、ひいては日本の囲碁文化の進展に寄与することを確認し、次のとおり宣言します。

- 1 地域の特性を生かした囲碁文化振興事業を充実していきます。
- 2 多くの子ども達が囲碁に親しめる環境づくりを図るとともに、中高年齢層への普及の輪をひろげます。
- 3 囲碁サミットに参加した自治体は継続して連携を図り、地域間の協力関係を充実していきます。
- 4 2009年に尾道市において囲碁サミットを継続して開催し、各地の取り組みを盛り上げます。

平成20年10月11日
囲碁サミット2008